

職員による自己評価

A環境・体制整備

- ・曜日によっては狭さを感じることもある。
- ・当日の利用者メンバーによっては、スタッフの人手が足りないと思うこともある。

B業務改善

- ・職員の資質向上のために、研修の機会が設けられることを望む。

C適切な支援の提供

- ・平日、休日、長期休暇に応じた細やかな支援をするために、もっと事前の話し合いが必要である。
- ・情報共有ノートを活用することで、支援の振り返りや気づいた点の共有につなげている。

D関係機関や保護者との連携

- ・一部の学校等とは情報共有や連携ができていると思われる。

E保護者への説明責任等

- ・必要に応じて連絡を取り合い、説明等を行っている。

保護者による評価

A環境・体制整備

- ・実際に活動を見ているわけではないので、分からない部分もある。

B適切な支援の提供

- ・放課後等デイサービス計画は、保護者とスタッフの目線で作成されていて良いと思う。

C保護者への説明等

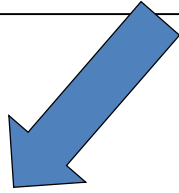
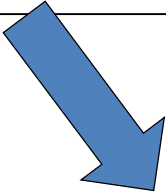
- ・大まかな支援内容については説明がある。
- ・利用の際、送ってくださるスタッフによっては説明がある人とそうでない人がある。
- ・保護者会が開催されないので、ほかの親との関りが乏しいと思う。

D非常時の対応

- ・防犯については不明だが、感染症対応などはお手紙などにより概ね理解している。

E満足度

- ・とても丁寧に愛情を持って接してくださるので感謝している。また、子どもも毎日楽しみに通っている。



事業所内での分析

【共通点】

- ・必要に応じて保護者と連絡を取り合い、事業所内での活動を説明するように心がけているが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、それにより保護者との面談の機会を設けることができないために、十分な説明や理解が得られているとは言い難い。

【相違点】

- ・情報共有ノート等の活用により、スタッフ間の利用者にかかわる情報把握という点では向上しているものの、保護者への情報提供という部分では不足しているものと思われる。

## 分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・学年で活動の場が分かれているので、年代に合わせた療育プログラムが提供できている。
- ・スタッフが毎回子どもたちの学習を見るので、事業所の特長である学習支援は達成できている。
- ・その日ごとに当番制を設け、それを日々実践することにより、子どもたちの自立支援につながっていると考える。

### 事業所の改善点

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、季節ごとのイベントが実施できていない。

### 事業所の改善への取り組み

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みを今後も強化していくこととし、終息の状況によっては保護者との面談の機会を復活させていきたいと考えている。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・保護者からは、「子どもが毎日楽しみに通っている。」「スタッフの方々は皆、子どもや保護者の事情に寄り添い親身になってくださるので、とても感謝している。」などという意見を多くいただいた。コロナ禍の状況で満足のいく支援ができていたとは言い難いが、今後も皆様に喜んでいただけるような支援を心がけ、日々取り組んでいきたいものである。

事業所名 プレップサポートセンター屏風ヶ浦

担当者 丹生 浩彰